



今年も決算の時期となりました。病院会計は公営企業会計として、国保京丹波町病院・和知診療所・和知歯科診療所の3施設一体に収支の決算をいたします。

令和4年度も、「私たちの町の私たちの病院」としての目指すべき役割をしっかりと果たすべく取り組みを進めてきました。しかし、第7波・第8波という新型コロナウイルス感染拡大が影響し、入院患者数が減ったことに伴い入院収益は減りました。一方、外来診療に関しては感染拡大時における発熱外来への一層の取り組みが、外来患者数の増加につながる

こととなりました。この結果、外来収益の増収分が入院収益の減少分を上回り、費用の抑制も相まって当年度純利益は2,449万円余りとなり、前年度に引き続き黒字決算となりました。

この結果は、当院のさまざまな取り組みが、住民の皆さまに認知され、当院を「かかりつけ病院」として頼っていただいているからこそと考えております。本当にありがとうございました。

これからも引き続き、地域の皆さまに必要とされますように、また、ご利用いただけますように職員一同、更に励んでまいります。



避難生活への備え

近年は台風や線状降水帯による河川の氾濫、土砂崩れなどの大きな災害が全国各地で起こっています。災害発生時は速やかに避難所に避難するなど命を守る行動が大切です。

避難の時に必要なものをすぐ持ち出せるよう、防災袋などを準備されている方も多いと思います。水、食品、軍手、懐中電灯、ナイロン袋、タオルなど準備しておきたいものはたくさんありますが、普段飲んでいるお薬も必要です。しかし、現実問題、薬はいつも防災袋に入れて置いておくことはできません。そんな時は薬の明細表だけでも袋に入れておくと、避難生活中でも薬の処方を受ける材料になります。また、お薬手帳を貴重品と一緒に袋に入れておけばすぐに持ち出すことができます。ご自身のアイデアで工夫してみてください。

万が一、避難所生活になってしまったら普段の生活に比べ動き回ることが極端に減るため、心身の機能が低下し『生活不活発病』になってしまいます。避

やま うち ひで み
山内 英美 看護師
国保京丹波町病院



難所でも出来るだけ日常生活と同じように送ることが大切です。

災害は起こらないに越したことはありませんが、いつ起こるかわからないので準備を十分にしておきましょう。また、皆さんの地域での防災訓練にも積極的に参加しましょう。

京丹波町にお住いの皆さんが健やかに幸せに「健幸」で暮らせるように・・・。

国保京丹波町病院では、病気になる前の「予防医療」を大切に

病気を患ってからもその人なりに幸せに暮らせるよう「地域包括ケアシステム」を充実し町民一人ひとりの健幸Wellness—ウェルネス—を目指しています。



まだまだ日中は暑い日があるものの、朝夕はめっきり涼しくなり、虫の声も激しくなって、秋を体全体で感じるようになりました。

気象庁の長期予報では今年は暖冬とのことですが、今年もやたらとカメムシが多いんだけど、と感じているのは私だけでしょうか。

さて、毎年、冬になると流行るのがインフルエンザです。今年もインフルエンザのワクチン接種も始まっていますが、新型コロナウイルス感染症の流行状況に今年のインフルエンザの流行状況も多少なりとも影響され

るのではないかと考えています。

2020年冬と2021年冬は新型コロナウイルス感染症の感染対策もあって、インフルエンザはほとんど流行することなく終わり、2022年こそは大流行と懸念されていましたが、結果としてはそれほどの流行ではありませんでした。インフルエンザの感染対策は新型コロナウイルス感染症の感染対策と基本的に変わりません。新型コロナウイルス感染症は5類相当になったからといって油断するのではなく、インフルエンザの感染対策でもあるからという気持ちを持って、うがいや手洗いなど日常の感染対策は続けていきたいものですね。